

9 見学・実習

9.1 飛騨天文台

05月16日	福井県大野市議会他見学	7名
07月06日	中日新聞「山歩きの会」見学	10名
07月29日	名古屋大学フィールドセミナー	26名
08月03日	飛騨地域住民天体観望会	40名
08月23日	大野郡理科部会見学	10名
08月23日	奥飛騨サイエンスツアー	12名
09月09日	乗鞍コロナ観測所OB会見学	18名
09月25日	本郷中学校見学	28名
09月28日	太陽宇宙活動デジタルライブ	95名
11月02日	信州大学実習	9名

惑星観測夏季実習

天体観測に興味を持つ学部学生を対象に、飛騨天文台の望遠鏡と宿泊施設を利用して、惑星観測の実習指導を実施しました。最初に65 cm 屈折望遠鏡の操作と CCD カメラの操作および、月、惑星の観測方法や解析方法の基本について講義を行いました。次に65 cm 屈折望遠鏡と CCD カメラを用いて、月、土星の観測を行い、月面および土星の画像データを得ました。観測解析実習では三つのグループに分かれ、第1のグループは、観測によって得られた月の画像データを測定することにより、月面上のクレーターの高さを計算する実習を行いました。第2のグループは、土星の画像データを測定することにより、土星の自転軸の天球上での方向を計算する実習を行いました。第3のグループは、以前に65 cm 屈折望遠鏡によって観測された木星の画像データを測定することにより、木星の自転周期を求める実習を行いました。最終日には発表会を開き、得られた結果についてグループごとに報告を行うとともに、最終結果をレポートにまとめて提出してもらいました。また、実習の合間を利用して、ドームレス太陽望遠鏡や60 cm 反射望遠鏡の見学を行いました。



(左) 65 cm 屈折望遠鏡での観測実習

(右) 惑星画像データの解析実習

(岩崎)